

洞塚跡

4

郡崩れの時、殉教者131人の胴を2か所の穴を掘って埋めた所といわれますが、3日後掘り出して大村湾に捨てたともいわれています。今は青銅の祈りの像の殉教顕彰碑が建てられています。



首塚跡

5

郡崩れの時、殉教者131人の首を埋めたと伝えられる所です。胴と首を約500mも離して埋めたのは、キリシタンの妖術で首と胴がつながって、生きかえることを恐れたためといわれます。



天正遣欧少年使節顕彰之像

6

この像は、天正遣欧少年使節がローマに派遣されてから400年を記念し、昭和57年に建てられたものです。少年たちは、北イタリアの各地で歓迎を受け、活版印刷機・西洋楽器など、西洋の高い技術や文明を持ち帰りました。



大村藩主大村家墓所(本経寺)

ちょっと寄り道

本経寺境内の南側に、この地方を治めていた大村家墓所があります。これらの墓塔でまず目を引くのがその大きさです。巨大な墓碑を建てた理由としては、キリスト教禁教後にキリスト教を棄て厳格に仏教を信仰している証として建てられたといわれています。



アクセスマップ



キリシタン史跡をボランティアガイドと一緒に散策しませんか？

おおむら歴史観光ボランティアガイドの会

大村市観光コンベンション協会内
TEL.0957-52-3605
FAX.0957-52-3652

お問い合わせ

大村市観光振興課

〒856-8686 長崎県大村市玖島1-25
TEL.0957-53-4111/FAX.0957-54-7135
E-mail/kankou@city.omura.nagasaki.jp

助成:(一財)空港環境整備協会

日本初のキリシタン大名 大村 純忠

大村純忠は戦国時代の長崎を治めていた領主です。貿易港として横瀬浦・福田・長崎を開港して南蛮貿易を進め、日本初のキリシタン大名となりました。その後、日本初のヨーロッパ公式訪問団である「天正遣欧少年使節」をローマに派遣するなど、歴史に残る多くの偉業を成し遂げました。日本のキリシタンの歴史を語る上で、欠かすことのできない人物です。

妻子別れの石

1

1657年に大村地方で潜伏キリシタンが発覚するという大事件(郡崩れ)が起こり、その時捕まった131人が処刑のため斬罪所に連れて行かれました。見送ってきた家族たちと、最後の別れを惜しみ、水盃を交わした所と伝えられる場所です。



放虎原殉教地

2

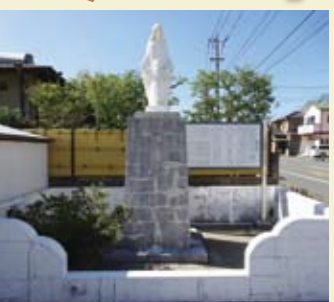
郡崩れの時捕えられ、打ち首と決まった406人の内、131人が1658年7月27日に処刑された場所です。現在、その跡には、銅版のレリーフをはめ込んだ大きな殉教顕彰碑が建てられています。



獄門所跡

3

ここは、長崎街道筋で人々の往来が激しい所でした。郡崩れの時、放虎原の斬罪所で処刑された131人の首を塩漬にして棚板に並べ、20日間みせしめのため、さらされた所です。



大村キリシタン 巡礼の旅



大村キリントン巡礼の旅



2時間モデルコース

- 森園公園 (スタート)**
1.5km ▼ [所要時間] 20分
- 1 妻子別れの石**
850m ▼ [所要時間] 11分
- 2 放虎原殉教地**
550m ▼ [所要時間] 8分
- 3 獄門所跡**
1.1km ▼ [所要時間] 14分
- 4 胴塚跡**
750m ▼ [所要時間] 10分
- 5 首塚跡**
2.6km ▼ [所要時間] 31分
- 6 天正遣欧少年使節頭彰之像**
350m ▼ [所要時間] 4分
- 森園公園**

交通アクセス

【バス】「長崎空港バス停」～「サンスパおおむらバス停」……… 3分
 「大村駅前バス停」～「サンスパおおむらバス停」……… 10分
 【車】大村I.C.～森園公園 …………… 10分

巡礼の旅ルート

P 駐車場 WC トイレ

コンビニエンスストア 銀行 病院

